

新名神高速道路は名神高速道路と交通機能を適切に分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路（大津～城陽間）建設の滋賀県域：12.2km及び甲賀土山～大津JCT（仮称）間の6車線化事業（28.5km）を担当しています。

3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保

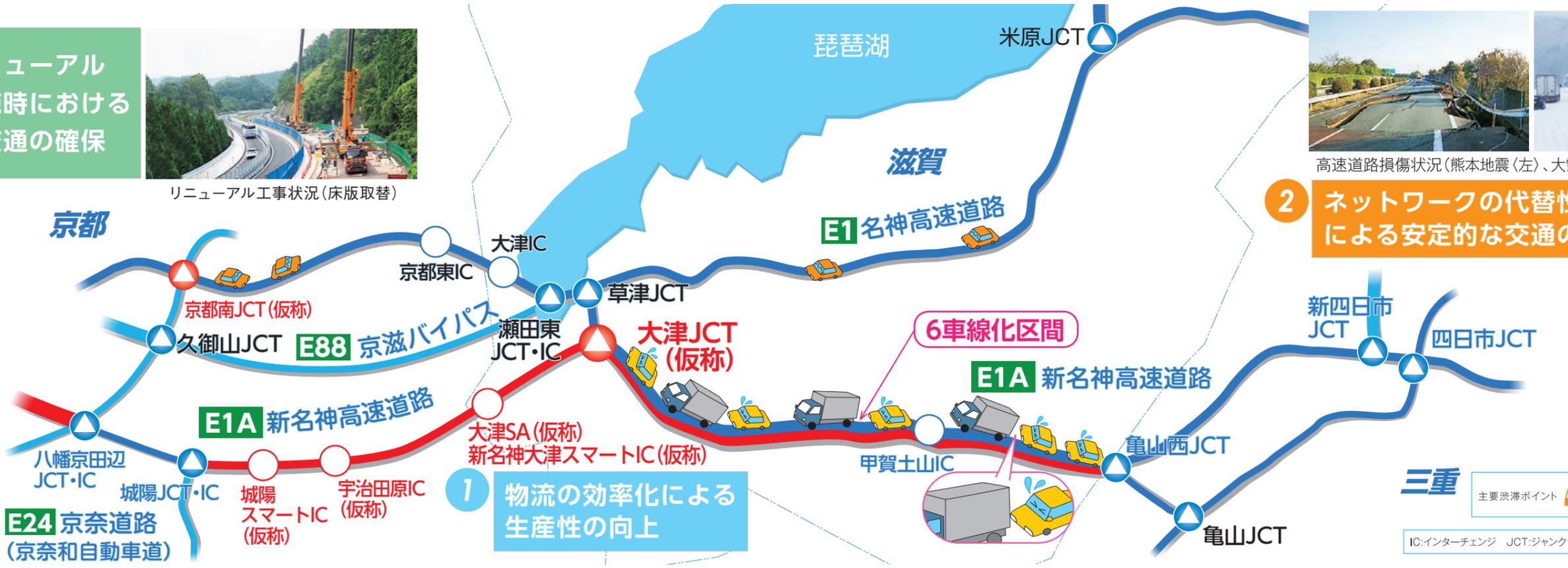


リニューアル工事状況（床版取替）



高速道路損傷状況（熊本地震（左）、大雪による立ち往生（右））

2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保



1 物流の効率化による生産性の向上

三重 主要渋滞ポイント

IC:インターチェンジ JCT:ジャンクション SA:サービスエリア

◆新名神高速道路（大津～城陽間）滋賀県域：12.2kmの進捗状況

新名神（滋賀県域の新設区間）では、用地取得及び埋蔵文化財調査は完了しています。工事は、全ての工事区で着手しています。なお、新名神高速道路（大津～城陽間）（八幡京田辺～高槻間）の6車線化が事業化され、合わせて工事を実施しています。

◆各地区の進捗状況（令和4年6月1日現在）

完了 ◆ 実施中 ◇ 実施予定 □

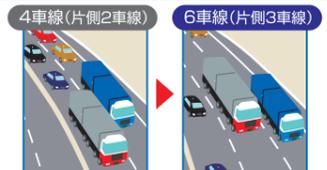
区間		大津JCT～城陽JCT・IC（滋賀県域）（12.2km）											
工事区		大津大石工事区（5.8km）				大津田上工事区（3.9km）				大津上田上工事区（2.5km）			
学区名		大石学区（6.4km）				田上学区（3.3km）				上田上学区（2.5km）			
自治会名（km）		小田原町 2.1km	龍門町 2.4km	中町 0.4km	東町 1.5km	関津 1.0km	里 0.3km	枝町 0.7km	森町 0.5km	羽栗 0.8km	新免 0.4km	中野町 0.9km	牧町 1.2km
用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	幅杭設置	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
用地取得	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
埋蔵文化財調査	—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
工事着手	本線	100	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	工事用道路	—	◇	◇	◇	—	◇	◇	◇	—	—	—	◇

◆新名神高速道路における6車線化事業の整備効果

1 物流の効率化による生産性の向上

課題 新名神高速道路は開通以降、大型車の交通量が増加傾向にあります。また、交通の集中に伴う渋滞も増加傾向がみられます。

効果 6車線化によって、低速度の大型車と高速の普通車の混在による速度低下や事故リスクを低減し、物流の効率化に寄与することができ、生産性の向上が見込まれます。



2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保

課題 名神高速道路は降雪・地震などの災害リスクポイントを抱えています。特に、琵琶湖西岸断層帯などの近隣地域では、地震発生時の機能停止が懸念されます。

効果 6車線化により、名神高速道路とのダブルネットワークの安定性が向上します。これによって、降雪や地震等の災害発生時に名神高速道路が通行止めとなった場合においても、新名神高速道路を代替路として利用することができ、安定的な交通を確保することができます。

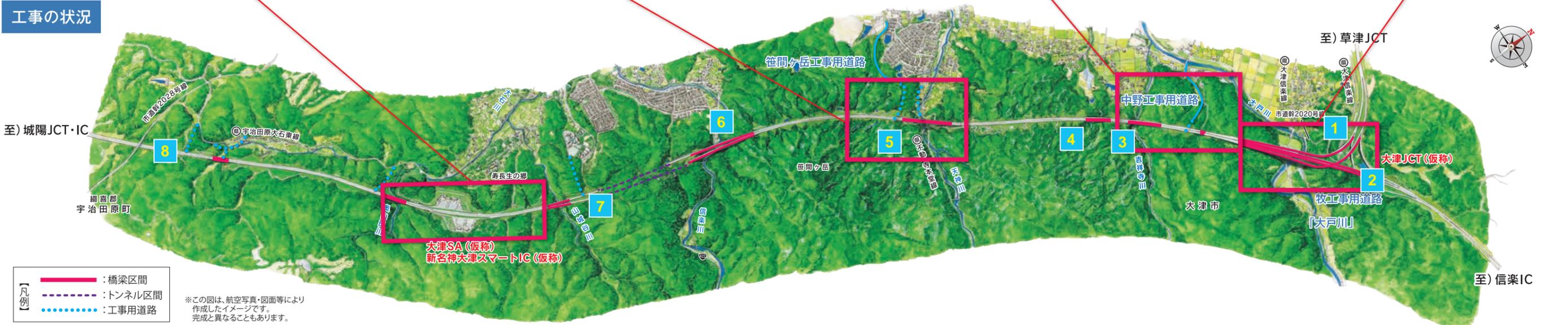
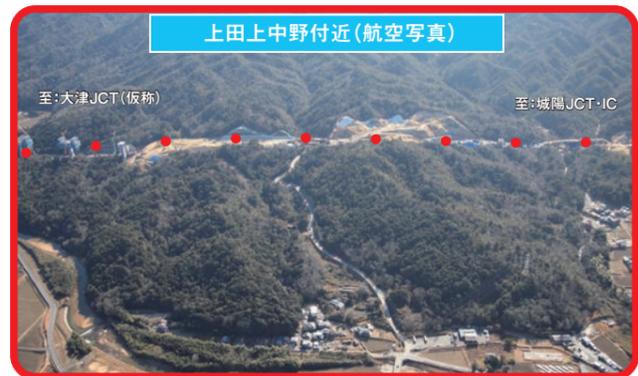
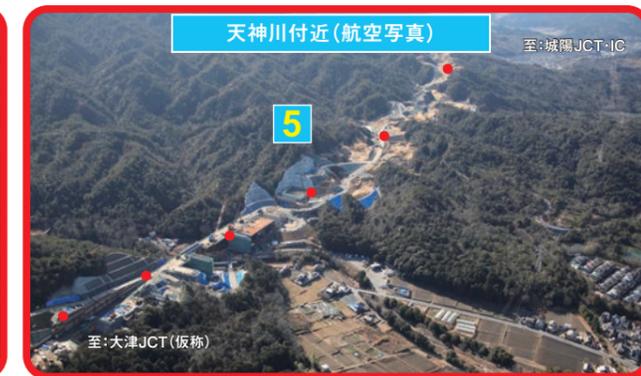
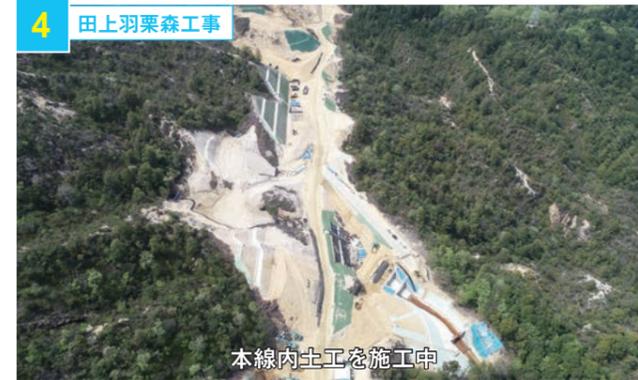
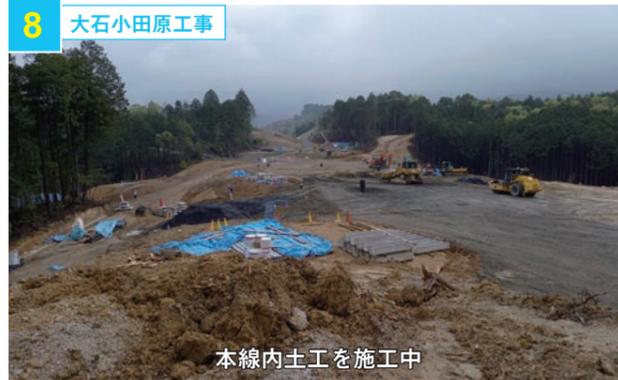
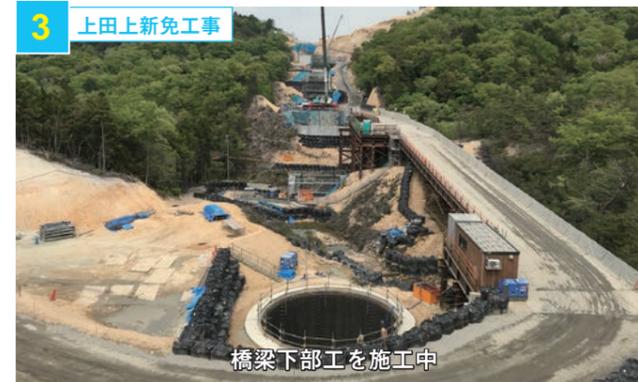
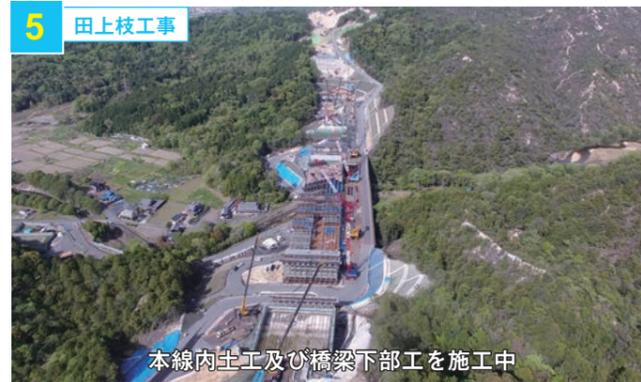


3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保

課題 名神高速道路は開通から50年以上が経過しており、今後リニューアル工事が本格化していきます。米原JCT～草津JCT間のリニューアル工事においては、主なう回路が新名神高速道路となります。

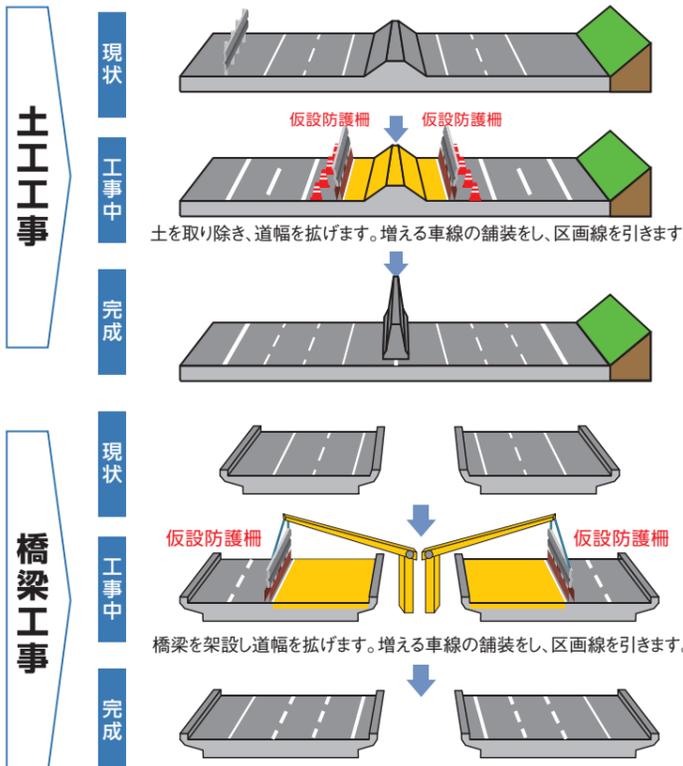
効果 名神高速道路のリニューアル工事実施時に、う回車両により新名神高速道路の交通量が増加した場合でも、6車線化によって渋滞の発生を抑制し、名神高速道路を軸とした円滑な交通を確保できます。





E1A新名神(大津JCT(仮称)～亀山西JCT間)の6車線化工事に伴う車線規制を実施しています。  
～車線規制や路肩が狭くなる区間がございますので、注意してご走行ください～

順次6車線に広がります!



6車線工事の内容

NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路 甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間の6車線化事業を進めています。6車線化に向け、土工工事や橋梁工事、そして舗装工事などを行います。  
※仮設防護柵設置時に車線規制を行います。※工事中は路肩が狭くなるので、注意して安全走行をお願いします。

大津JCT(仮称)

信楽IC

甲南IC

甲賀土山IC

E1A新名神 上り線 金勝山トンネル前後 約5.0km 令和4年3月29日より3車線運用開始

E1A新名神 下り線 甲南トンネル前後 約4.5km 令和4年3月29日より3車線運用開始

■ 甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間

**一部区間で3車線運用開始!**

E1A 新名神高速道路 甲賀土山IC～大津JCT(仮称)間の6車線化工事の一部区間(下図参照)が令和4年3月29日(火)から3車線で走行可能になりました。

大津JCT(仮称)東側から名古屋方面を望む



工事前



工事後

完成区間

- ① E1A 新名神高速道路 甲南IC～信楽IC間(下り線) うち約4.5km(甲南トンネル 前後)
- ② E1A 新名神高速道路 信楽IC～大津JCT(仮称)間(上り線) うち約5.0km(金勝山トンネル 前後)



6車線化に向け、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



▲ 橋梁工事

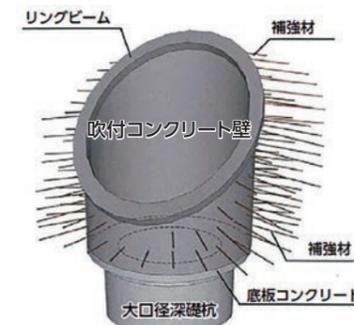


▲ 舗装工事

■ 大津JCT(仮称)～城陽JCT(仮称)間

**「竹割土留工法」で工事を進めています**

竹割土留工法は、土留め壁を円筒状に施工することで掘削土量を削減し、環境負荷の軽減ができる合理的な工法です。鉄筋コンクリート製のリング状構造部材(リングビーム)をガイドとし、補強工と吹付コンクリートで周辺地山を補強しながら地山を垂直に掘り下げていきます。



竹割土留工法概略図

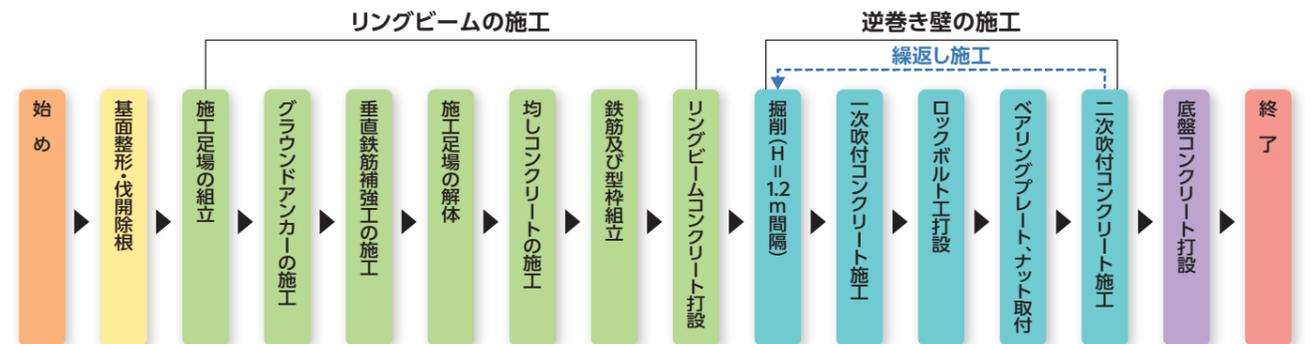


吹付コンクリート施工状況



竹割土留施工完了

施工手順



特徴

- 円筒状にすることで掘削に伴う地山の変形を抑制し、施工中の安全性を確保できます。
- 長大な人工斜面が発生しないので、自然環境や景観に与える影響を最小限に抑えることができます。
- 施工後の斜面の維持・管理が少なくなります。



施工例